

2020年11月4日

東北大学- RIETI 共催シンポジウム

人生100年時代のサバイバル・ツール

ニューノーマル時代における“ウルトラ高齢社会”のリスクとチャンスとは？

# 人とのつながりが力になる —ソーシャル・キャピタルを蓄えよう—

佐藤嘉倫

東北大学大学院文学研究科

京都先端科学大学人文学部

# 定年退職後に何が起きるのか？

- 仕事がなくなる
  - 給料がなくなる→収入の減少
  - 社会とのつながりが切れる
  - 自己承認欲求が満たされなくなる
- 職場に行かなくなる
  - 職場の人間関係が切れる→ソーシャル・キャピタルの減少

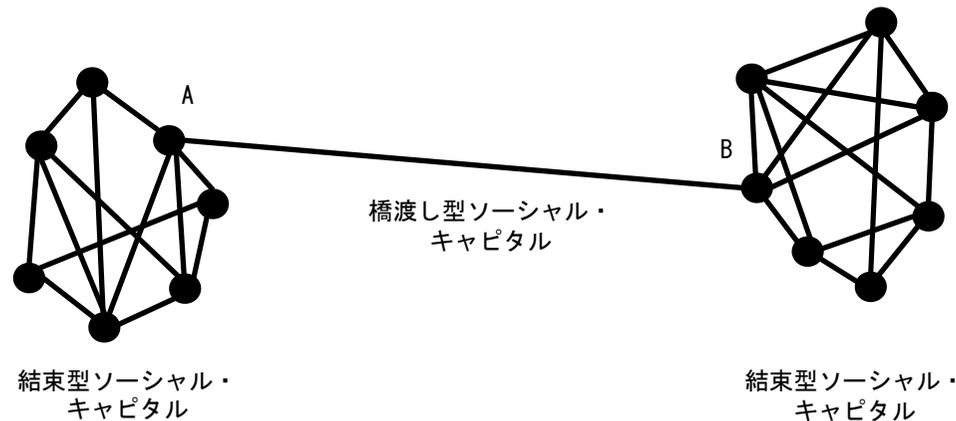
# ソーシャル・キャピタルって何？

- 社会関係資本
- 人間関係（社会ネットワーク）・・・だけではない
- 「資本」に注意
- 人間関係がプラスの効果をもたらすことに着目した概念
  - 注意：マイナスの効果をもたらすこともある
- 『ライフ・シフト』（グラットン・スコット）
  - 生産性資産
  - 活力資産
  - 変身資産



# ソーシャル・キャピタルの種類

- 結束型ソーシャル・キャピタル
  - 比較的同質な人々からなる密な社会ネットワーク
- 橋渡し型ソーシャル・キャピタル
  - 比較的異質な人々からなるゆるやかなネットワーク



# ソーシャル・キャピタルから見る 人生100年時代

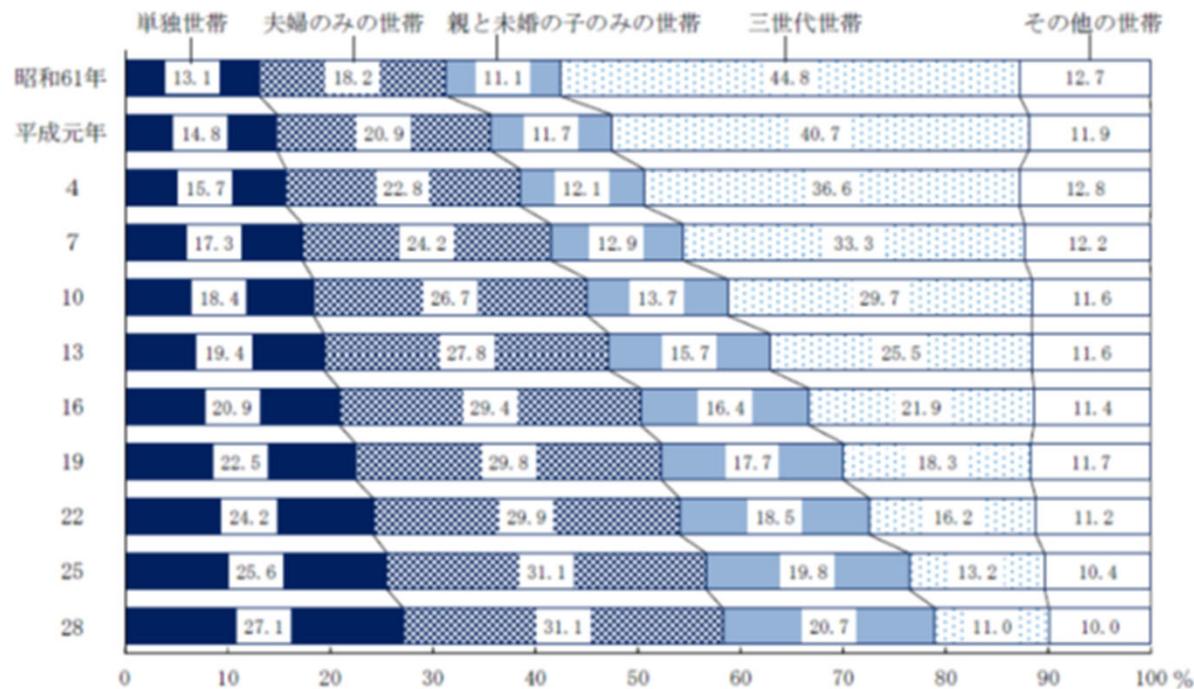
- 子どもの頃：親や周りの大人
- 生徒・学生の頃：友人、教師、親
- 就職時：学校の先生の紹介
- 社内での昇進：上司の引き立て
- 転職：友人や知人の紹介
- 定年後：？

# 定年後のソーシャル・キャピタル

- 人生100年時代
- 定年後の30年～40年の人生
- 高齢者に関するソーシャル・キャピタルの効果
  - ソーシャル・キャピタル→主観的幸福感・抑うつ（太田, 2014）
  - ソーシャル・キャピタル→フレイル防止（桂 他, 2018）
  - 関係は複雑だが、少なくともソーシャル・キャピタルはマイナスの効果は持っていない
  - 地域レベルのソーシャル・キャピタル→地域医療にプラスの効果（稲葉, 2011）

# 定年後のソーシャル・キャピタルは減っていくのか？

図2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移



注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 平成28年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

厚生労働省『平成28年 国民生活基礎調査の概況』

# 必ずしもそうではなさそうだ

- 年齢が高くなっても変化はない（中田 2020）
- 同居家族を失っても友人・知人が増えてソーシャル・キャピタルの減少を防いでいるのではないか
- 孤立（isolation）と孤独（loneliness）は違う
- 独居老人は不幸か？

# ただし 人間は急な環境の変化に弱い

- 転勤、昇進などでうつ病発症
- 退職や配偶者の死亡も急激な環境変化
- どうすればいいのか？
  - なだらかな変化ができる人になる（変身資産の蓄積）
  - なだらかな変化ができる社会にする



# 新たな課題：ニューノーマルの下での ソーシャル・キャピタル

- ニューノーマルの下でソーシャル・キャピタルを構築できるか
  - 「できる」派
    - SNSを通じたつながり
    - Zoom飲み会
  - 「できない」派
    - 結束型ソーシャル・キャピタルの維持・強化はできる（佐藤, 2018）
    - しかし橋渡し型ソーシャル・キャピタルは構築できない
- 人々がニューノーマルに慣れてきたらどうなるか？
  - 今後の研究課題

# 参考文献

- 稲葉陽二. 『ソーシャル・キャピタル入門－孤立から絆へ－』 中央公論新社.
- 桂敏樹 他. 2018. 「地域閉じこもり高齢者におけるソーシャル・キャピタルとフレイルとの関連」 『日本農村医学会雑誌』 67(4): 457-468.
- 中田知生. 2020. 『高齢期における社会的ネットワーク－ソーシャル・サポートと社会的孤立の構造と変動』 明石書店.
- 太田ひろみ. 2014. 「個人レベルのソーシャル・キャピタルと高齢者の主観的健康感・抑うつとの連関」 『日本公衛誌』 61(2): 71-85.
- 佐藤嘉倫. 2018. 「間メディア環境における公共性－ネット住民は公共性の夢を見るか？」 遠藤薫（編） 『ソーシャルメディアと公共性－リスク社会のソーシャル・キャピタル』 東京大学出版会.